

◆水筒と管狐

ボール以外のポケモンの捕獲例としてアラビアでのランプの事例を紹介したが、そのような容れ物はハウエンなどでも報告される。

その容れ物の材料は竹である。竹は古来より様々な道具に加工されてきたが、そのうちの一つ、水筒がそれにあたる。ただ、この容れ物に入れられるポケモンの種類をかなり選んだようだ。身体の長いポケモンでないと捕らえるのは難しかったという。代替としてひょうたんが用いられる事もあり、その場合はまた捕まえられる種類が変わったという。

竹の水筒を用いたのは飯綱いづな使いと呼ばれる古代ハウエンの占術集団であった。彼らは竹の水筒に入れたポケモンを用い、様々なまじないを行った。その主要な種類はジグザグマ、マッスグマで、管狐くだぎつねと呼ばれていた。その特性を利用し、失せ物捜しなどを行わせたという。その他にはドジョッチ、ハブネークなどを入れる者もあった。ジョウトに渡った者達はアーボやオオタチを入れて使役したという。

また、特に優れた飯綱いづな使いはギャラドスを従わせ、雨乞いの術を行ったとか、イワークを従わせて山に穴を開け道を造ったとも伝えられている。実際、ハウエン地方にはそのようにして出来たと言われるトンネルがいくつか存在している。